

## 平成30年度事業報告

我が国の65歳以上の高齢者人口は、総人口に占める割合は、27.7%に達しており、今後2025年には団塊の世代が75歳以上になるところです。このような中で、シルバー人材センターは、高齢者に生きがいと働きがいを与え生涯現役社会の実現に大きな役割を果たしています。

一方、伊賀市においては、人口減少・少子高齢化が進む中、定年延長、再雇用等により入会する会員の減少と加齢、病気、家族の介護による退会で会員数が前年を大きく下回る結果となっています。全国のシルバーで取り組んでいる「第2次会員100万人達成計画」を推進の中、会員数は3月末現在、813名で、前年同期に比べ48名の減少となっています。毎月の会員数の減少が止まらないことから、副理事長をリーダーとする会員拡大プロジェクトチームを立ち上げ、昨秋から、月1回の会議をもち、課題の洗い出し、手法の検討を行っているところです。すでに伊賀市庁舎での封筒、案内板等での普及啓発、老人クラブ連合会研修会での会員募集、情報誌へのシルバー記事の掲載と会員募集広告などを行っているところです。まだまだ道半ばではありますが、継続検討から行動につなげ実をつけるものと確信しています。

シルバー人材センターは、「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、会員、役員、職員が、一丸となって事業推進に取り組み、より堅実な事業基盤の確立とともに、平成30年度事業に取り組んできました。

平成29年度、市に予算化していただきました「地域就業機会創出・拡大事業」では、伊賀市空き家等維持管理サービス登録事業者として安全で安心なまちづくりなどの推進に寄与してきました。

事業実績については、受託事業で、377,576千円の契約額となり対前年度比90.7%、派遣事業では契約額が107,622千円で対前年度比117%となり、総契約額は485,198千円、対前年度比95.5%の実績となり、大幅な減少となりました。

なお、高齢化社会にあって今日までの実績は、会員及び関係機関並びに各事業所をはじめ、地域の方々の深いご理解・ご支援によるものであります。

以下、本年度事業として推進しました主要事項について報告いたします。

### ◎基本方針

- ① 組織運営体制の充実と会員連携の強化
- ② 会員の加入促進と普及啓発活動
- ③ 安全・適正就業の推進
- ④ 就業機会の開拓推進
- ⑤ 技能支援と各種講習の推進
- ⑥ 福祉家事援助サービス事業の推進
- ⑦ 地域高齢者サポート事業の推進
- ⑧ 奉仕活動（ボランティア）の推進
- ⑨ 健康福祉活動の推進
- ⑩ 独自事業の推進
- ⑪ 特定公益増進法人制度の推進

## 1. 組織運営体制の充実と会員連携の強化

会員自らが主体となり各地区、各事業面での積極的な就業開拓が図られるようリーダー養成と会員連携の推進に努める。

### ① 専門部会の充実と各委員会活動の活動強化

- ・総務組織部会（6回）表彰審査会（1回）開催
  - 5/ 9・・・定時総会（案）、表彰審査
  - 7/20・・・事業計画所掌事項、人権研修、市長・議長要望、会員拡大、設立15周年記念事業企画委員会、要綱の一部改正等
  - 9/25・・・会員拡大プロジェクトチーム設置要綱、人権研修、先進地視察研修等
  - 11/27・・・役職員先進地視察研修、役職員人権研修、事務費・材料費等の見直し等
  - 2/26・・・財政援助団体監査結果、役職員先進地視察研修、草刈班配分金の見直し等
  - 3/11・・・平成30年度事業報告、平成31年度事業計画等
- ・安全適正就業推進部会（4回）、就業適正化委員会（3回）、安全委員会（2回）開催
  - 7/ 9・・・H30年度部会事業計画（安全就業・適正就業）  
安全就業の取組み（安全・適正就業強化月間の取組み、安全就業パトロールと事故防止対策、安全標語の募集、安全就業推進大会）、適正就業の取組み、会員拡大等
  - 10/10・・・事故発生概要、安全適正就業パトロール（三シ連・センター）、安全標語の選定、安全講習会等
  - 12/ 4・・・事故発生概要、安全講習会結果、パッカー車の運用基準等
  - 3/ 8・・・平成30年度事業報告、平成31年度事業計画等
- ・福祉家事援助サービス部会（4回）、福祉・家事援助推進委員会（3回）開催
  - 7/25・・・事業計画所掌事項、市民夏のにぎわいフェスタ2018出店、三シ連主催シルバーいきいきフェスタ2018、福祉家事援助サービス月間、会員拡大等
  - 10/ 2・・・市民夏のにぎわいフェスタ2018結果、三シ連シルバーいきいきフェスタ2018、シルバー福祉・家事援助サービス月間、阿山けんずいまつり等
  - 12/ 3・・・三シ連シルバーいきいきフェスタ2018結果、阿山けんずいまつり結果、シルバー福祉・家事援助サービス月間の活動等
  - 3/ 8・・・平成30年度事業報告、平成31年度事業計画等
- ・事業普及部会（4回）、憩のやかた運営委員会（2回）開催
  - 7/24・・・事業計画所掌事項、H30事業計画、会員拡大等
  - 8/ 3・・・憩のやかた運営委員会、H30事業計画、市民夏のにぎわいフェスタ2018、憩のやかた実績等
  - 10/12・・・事業・会員拡大、三重県シルバーの日の啓発活動等
  - 12/ 5・・・剪定講習会、パッカー車の運用基準等

3/12・・・平成30年度事業報告、平成31年度事業計画等

3/25・・・憩のやかた運営委員会

② 班組織（地域班、職群班）の充実と班機能の確立

・地域班長会議59班（8/30、1/30）

・職群班長会議

随時・・・放課後児童支援班月例定例会議（延べ 36回）

随時・・・市営駐車場従事会員面接（10名）

本部体制、適正な請負委任業務、接遇（おもてなしの心）、  
思いやり駐車場の管理・運営、就業全般等

7/13, 8/17, 10/12, 12/26, 2/18 草刈班長会議（5回）開催

公共・民間受注の進捗状況、事故概要、事務費・材料費・使  
用料の見直し、パッカー車運用等

12/13, 2/26・・・剪定班長会議（2回）開催

事故概要、事務費・材料費・使用料の見直し、剪定講習会等

12/5, 1/22, 3/14・・・駐車場班長会議（2回）旧庁舎周辺駐車場管理班全  
体会議（1回）開催

安全就業及び適正就業、庁舎移転後の管理等

12/27・・・草引班長会議

3/15・・・児童クラブ・家事援助班長会議（1回）開催

3/18・・・清掃班長会議（1回）開催

安全就業及び適正就業

3/22・・・事業所班長会議（1回）開催

安全就業及び適正就業

③ 地域ブロック会議の充実（地域就業活動の促進と会員間の連携強化）

④ 設立15周年記念事業企画委員会を設置・会議開催4回（10/19、12/7、1/31、  
3/11）

⑤ 各種規程、要綱等の整備改正

随時・・・理事会、総務・組織部会、事務局

⑥ 他シルバー人材センターのご来訪

9/28 江南市シルバー人材センター役職員様 13名

11/13 大府市シルバー人材センター役職員様 15名

11/29 愛西市シルバー人材センター役職員様 16名

3/6 小松島市シルバー人材センター役職員様 9名

3/12 多気町シルバー人材センター役職員様 15名

3/13 袋井・森地域シルバー人材センター役職員様 14名

2. 会員の加入促進と普及啓発活動

センター事業の進展のため、入会促進と普及啓発活動を実施。

① 入会の定期説明会開催及び桐ヶ丘団地、ゆめが丘団地での入会説明会の実施

・年間24回開催し、106名参加（昨年より38名減）

3月末・・・会員数 813名（昨年より48名減）

入会者計 82名、退会者計 130名

・うち会員の紹介による入会 25名

- ② 会報「シルバー伊賀」年2回発行（8月、1月）
  - ・広報編集委員会・・・6回開催（7/23、8/10、8/22、11/28、1/15、12/27）
- ③ 伊賀市長・市議会議長要望  
（8/9 市長及び市議会議長）
- ④ 市広報による入会説明会及び就業相談会の開催日周知
- ⑤ 会員による普及啓発パンフの配布
- ⑥ 全シ協、三シ連との連携協調による広報パンフ、リーフレットの配布
- ⑦ 地域での普及啓発活動
  - ・各種イベント参加：青山夏まつり（7/15）、市民夏のにぎわいフェスタ  
2018（8/19）、阿山けんずいまつり（11/3）
- ⑧ 入会説明会に合わせてポスティングを実施
- ⑨ 会員拡大プロジェクトチームを設置し検討・会議5回開催（11/6、11/29、  
12/25、2/12、3/29）
- ⑩ ポスティングチラシの刷新
- ⑪ 老人クラブ連合会研修会で会員募集のチラシを300枚配布（2/15）
- ⑫ 情報誌YOUに伊賀市・名張市シルバーを掲載（3/23）
- ⑬ 事務所所有車、パッカー車に会員募集ステッカーを掲示

### 3. 安全・適正就業の推進

シルバー事業で何よりも優先する安全対策に向けた取り組みを進めるとともに、  
受託と派遣の事業点検を行い適正就業に取り組みました。

- ① 安全就業現場パトロール実施（8回）草刈・草引き・剪定等  
7/17. 7/26. 7/31. 8/6. 8/22. 9/7. 9/12. 9/20
- ② 事故発生件数18件（物損事故5件・傷害事故13件）
- ③ 安全適正就業にかかる就業制限実施要綱に基づき18件の事故のうち  
3件にイエローカードの就業制限を通知
- ④ 安全標語の募集（25点応募）
  - ・最優秀作品「危険箇所 皆で把握 作業前」
- ⑤ 安全講習会（12/3 どんぐりホール）・・・96名参加
  - ・安全標語入選者の表彰・・・5名
  - ・安全就業について  
～定型手順準備について～・・・安全委員会委員長
  - ・講演：「お腹をよくして元気になる」  
伊賀市立上野総合市民病院 副院長 田中光司 様
- ⑥ 熱中症予防パンフレットの配布
- ⑦ 適正就業関係
  - ・ 7/12 安全就業推進大会（三シ連）・津
  - ・ 8/16 業務就業機会創出員研修会（三シ連）・津市

- ・ 9/12 安全・適正就業パトロール（三シ連）・菰野町
- ・ 9/20 安全・適正就業パトロール（三シ連）・伊賀市
- ・ 9/21 安全・適正就業パトロール（三シ連）・多気町

#### 4. 就業機会の開拓推進

会員に適した就業の場を提供するため、会員のご協力を得ながら就業機会の確保及び新規開拓に努めました。

##### ① 就業実績

- ・ 総受託件数・・・5,752件  
[公共 1,044、民間 2,168、一般 家庭 2,540]
- 対前年度・・・149件減  
[公共 44増、民間 111減、一般 家庭 82減]
- 総契約額・・・377,576千円（対前年度比 90.7%）
- 総就業延日人員 75,797名（対前年度 8,469名減）
- 実就業人員 676名（対前年度 76名減）
- 就業率＝就業人員 676／会員数 813・・・83.2%（対前年度比 4.1%減）
- ・ 派遣 伊賀市事務所派遣事業所数・・・29事業所（4減）
- 登録会員数・・・120名（85名減）
- 就業延日人員・・・15,547名（2,677名増）
- 伊賀市事務所派遣事業総収入・・・107,622千円（対前年度比 117.1%）

**総事業費（派遣事業含む）・・・485,198千円（前年度 508,387千円）**  
対前年度比 95.5%

- ② 事業所訪問
- ③ 会員による普及啓発パンフの配布
- ④ 住民自治協議会との連携による地域密着型就業の活動

#### 5. 技能支援と各種講習の推進

高齢者の就業に必要な知識や技能習得のため事業としての技能講習会を開催する。

- ① 清掃作業者スキルアップ講習（6/29, 7/6） 33名参加
- ② 生活支援クリーニング技能講習（9/26、9/27） 11名参加（三シ連主催）
- ③ 育児サポート技能講習（11/9, 11/11, 11/15, 11/18） 11名参加（三シ連主催）
- ④ 人権研修会（12/12） 23名参加  
「高齢者の人権について」  
津地方法務局人権擁護課係長 永戸加代子 様
- ⑤ 安全運転講習会（11/8, 11/13） 16名参加
- ⑥ パッカー車取扱（積込）講習・ダンプ講習（3/1, 3/8） 56名参加
- ⑦ 剪定講習会（3/2） 17名参加（男性15名、女性2名）

#### 6. 福祉家事援助サービス事業の推進

高齢化社会の進展で高齢者世帯が増加の中、福祉家事援助等の生活支援や社会参加型活動を行いました。

- ① シルバーいきいきフェスタ 2018（三シ連）10/25・・・29名参加  
テーマ「いきいき!!シルバーライフ」パネル展  
会員経験発表（桑名市シルバー「学童保育所の取り組み」）  
アトラクション（松阪市・志摩市・いなべ市シルバー人材センター）  
作品展示・即売会・体験コーナー  
講演：笑いと人間関係（心身健康科学協会理事長 橋元慶男氏）
- ② 福祉・家事援助サービス月間事業・・・・・・・・延べ 39名  
8/19・・・ぬくもり園草刈、草引 10名  
8/20・・・にぎわいフェスタ翌日清掃 10名  
10/28・・・なしの木園窓ふき 6名  
12/15・・・彩四季窓拭き他 7名  
12/16・・・ぬくもり園窓拭き他（インフルエンザ予防のため中止）  
12/26・・・餅つき及び放課後児童クラブ活動 6名
- ③ 各種講習会・研修会の開催と参加  
放課後児童支援員県認定資格研修（県主催） 延べ 24名  
三重県児童館連絡協議会 延べ 18名  
伊賀市人権研修会 28名
- ④ いきいきシルバーサロン（池町）毎月1回開催  
計11回・・・・・・・・延べ 110名参加
- ⑤ 地域イベントへの参加  
7/15 青山夏祭り・・・16名  
8/19 市民夏のにぎわいフェスタ 2018・・・20名  
11/ 3 阿山けんずいまつり・・・12名

## 7. 地域高齢者サポート事業の推進

それぞれの地域の高齢者が日常生活で困っておられる短時間でできる簡易なことをその地域の元気なシルバー会員が安価で支援（受注）する地域高齢者サポート事業（生活支援）について、進めました。

地域高齢者サポート事業（生活支援）

（支援実施）西高倉きずな会・阿山サポート会・小田サポート会

## 8. 奉仕活動（ボランティア）の推進

会員間の連携を深め、シルバー事業のモットーである「すすめよう」「さしのべよう」「まもろう」「つたえよう」を就業だけでなく、地域での奉仕活動においても実施いたしました。

- ① 4/1～5/7 伊賀上野NINJA フェスタ 2018 ボランティア 3名
- ② 5/18～3/11 いがスマイル彩ボランティア活動・・・17件、延べ135名  
福祉施設やサロンで演芸奉仕  
・ハーモニーハウス伊賀大山田 9名      ・いきいきサロン紺屋町 7名

- ・ハーモニーハウス平野蔵垣内 8 名
  - ・外山いきいきサロン 8 名
  - ・いきいきサロン友楽町 10 名
  - ・介護老人保健施設第 2 おかなみ 8 名
  - ・介護老人保健施設さくら苑 9 名
  - ・介護老人保健施設さくら苑 3 F 8 名
  - ・特別養護老人ホームぬくもり園 6 名
  - ・鞆田手つなぎサロン 8 名
  - ・ディサービスセンター岡鼻の里 9 名
  - ・市部お元気クラブ 8 名
  - ・朝日ヶ丘町朝みどり会 8 名
  - ・あかつきいきいきサロン 7 名
  - ・馬田ふれあいサロン 8 名
  - ・上野病院第 3 デイケア 7 名
  - ・下郡いきいき体操クラブ 7 名
- ③ 8/20 市民夏のにぎわいフェスタ 2018 翌日清掃 10 名
- ④ 11/24 近鉄青山町駅前剪定、草引き、清掃ボランティア 9 名

## 9. 健康福祉活動の推進

熱中症予防等パンフの配布、会報 27 号に健康診断受診推進を掲載等、会員が健康管理に留意いただくため、周知しました。

## 10. 独自事業の推進

高齢化社会が一層進展する中、シルバー会員が受託事業だけでなく自らの事業化に向けた体制整備に努めた。

### ① 憩のやかた事業の推進

- ・店舗の内容充実に努め、来店客の増加を図った。
- ・「ぷち忍者変身処」を通年開設
- ・市松模様の忍者衣装の製作と貸出開始

### ② いきいきシルバーサロン「池いけやかた」事業の推進

- ・年 11 回開催

近隣住民と会員の健康増進と生きがいつくりの場の提供

## 11. 特定公益増進法人制度の推進

各事業所等にシルバー人材センター事業や特定公益増進法人制度の理解を深めるとともに、寄付行為についても周知を図り、14 事業所から 140,000 円の協力を得て当センター業務の充実に努めました。

## 12. 理事会の開催

主要協議案件、その他事項について、7 回の理事会を開催し、所掌事項等下記の取組み事項と諸事業の推進

5/11・・・活動状況、新入会員、事業実績、各専門部会等、会員拡大の必要性等  
(第 1 回) 報告

総会提案事項・・・事業報告、収支決算、監査報告、表彰、役員の選任等

6/27・・・役員紹介、活動状況、三役職務執行状況、全国シルバー・東海シルバー  
(第 2 回) 一及び三重県シルバー総会、新入会員、事業実績報告等

H30 年度事業計画、所掌事務、役員・委員会・部会長等

役員賠償保険、熱中症見舞金制度、発注者の振込、適正就業ガイドライン等

- 8/8・・・事業取組み状況及び新入会員等の報告、各部会取組状況の報告  
(第3回) 会員拡大プロジェクトチーム、設立15周年記念事業企画委員会、嘱託職員の取扱いに関する要綱の一部改正協議  
市長議長要望、各フェスタ、シルバーの日、人権研修報告
- 10/17・・・事業取組み状況及び新入会員等の報告並びに各部会取組み状況、三役職  
(第4回) 務執行状況報告  
先進地視察研修、安全講習会、会員拡大プロジェクトチーム協議  
安全標語と当面の事業の報告
- 12/12・・・事業取組み状況及び新入会員等の報告並びに各部会取組状況の報告  
(第5回) 先進地視察研修、剪定講習会、事務費・材料費・配分金の見直し等
- 2/27・・・事業取組み状況及び新入会員等の報告並びに各部会取組状況の報告  
(第6回) 草刈事業配分金の見直し、パッカー車の運用基準、役職員視察研修等
- 3/15・・・平成30年度収支補正予算、平成30年度事業報告、平成31年度事業  
(第7回) 計画(案)

### 13. 役職員調査研修報告

#### 目 的

公益社団法人伊賀市シルバー人材センターは、65歳定年の定着化により会員の増強が進まない状況が続いていますが、センターの地域における存在意義を高め、積極的な事業運営を行うためには会員拡大が喫緊かつ最重要課題であり、会員、役員、職員が一丸となって「第2次会員100万人達成計画」の目標に向かって取り組んでいかななくてはなりません。

このような中、新たに住宅団地内のポスティング、ホームページの充実・更新、マスメディアの取材、会報を市関係の施設に設置、また、この1月に開庁した新市役所案内板への広告掲載、市の封筒にPR広告の掲載等を行っていますが、会員の増加に繋がらない状況です。さらに、会員拡大プロジェクトチームをつくり、月1回の会議を開催、検討し、実行に移せるものから取り組んでいるところです。

こうした情勢を踏まえて一層の就業機会確保と会員を確保し、魅力あるシルバーとするため、豊川市・焼津市シルバー人材センター様にご教示いただき、より地域社会に根ざした活動の推進と魅力あるシルバー人材センターとなるよう一層の研鑽を積むため、県外の先進地視察研修を実施いたします。

期 間 ・・・・平成31年 3月19日(火)～20日(水)

視察研修箇所・公益社団法人 豊川市シルバー人材センター(愛知県)

公益社団法人 焼津市シルバー人材センター(静岡県)

参加者 ・・・・公益社団法人伊賀市シルバー人材センター役員・職員15名



## 研修課題

- 1) 就業拡大及び会員拡大について
  - ①会員獲得するための取組等
  - ②「私も、シルバー会員になりたい」と思われる魅力あるシルバー人材センターづくりについて
  
- 2) シルバー人材センターの現況と組織構成等について
  - ①会員数、就業実績、公民比等
  - ②健全な財政状況堅持のための取り組み状況（事務費率の改定等）
  - ③事業運営への会員（男女別）の関わり方
  
- 3) 安全就業について
  - ①事故防止対策の取り組み状況
  
- 4) 福祉・家事援助サービス事業の取り組みについて
  - ①他機関（例：市や社会福祉協議会等）との連携事業
  - ②介護保険制度改革に伴う取り組み状況（今後も含めて）

## 研修概要

### 【豊川市シルバー人材センター】

- ・会員・・・1, 007人
- ・母体人口・・・185, 884人
- ・受託実績・・・455, 943千円（公共24.8%、民間75.2%）
- ・派遣実績・・・派遣就業人員176人
- ・就業率・・・請負、委任 70.9%  
派遣 73.6%
- ・研修内容・・・紹介カードや、人通りの多い会員の家にのぼりを立ててもらって会員拡大に努めた。チラシの配布は、一過性のもので、効果が見えないので終了とした。看板シートを所有車にはった。安価で効果がある。確実に目にとまる必要がある。

女性会員が増えないので女性部会を設置し、今は、女性委員会として活動している。理事14名のうち6名を女性理事として活発な活動をしている。退会者を増やさないための、ゴールド会員制度や77歳、88歳の長寿を祝う会は、女性委員会がお弁当を作って、もてなしをしている。集まった方は大変喜び、センター会議室でゆっくりされている。長寿を祝う会は5年の在籍で対象となる。そして、最後の時まで入ってくださいとお願いしています。

新年度から市民病院の案内板（テレビ画面）に広告を入れることになっている。市民病院は、1日の来院者が1,000人を超えることから効果がある。ハートをくすぐりたい。

総会後のアトラクションには、若い人、家族が来る。シルバーに行け

ば楽しませてくれる。ハートをくすぐるような魅力あるシルバー人材センターづくりに取り組んでいる。自分が楽しめる面白いものであれば、必ず会員のハートをつかむ、そんな気持ちで企画している。

#### 【焼津市シルバー人材センター】

- ・会員・・・ 889人
- ・母体人口・・・ 140,189人
- ・受託実績・・・ 444,149千円（公共20.2%、民間79.8%）
- ・派遣実績・・・ 173人
- ・就業率・・・ 請負、委任 88.5%  
派遣 79.7%
- ・研修内容・・・ 職員体制は、13名で、正職員2名（事務局長と事務局次長）、嘱託職員2名、臨時職員9名（男性6名、女性3名）。臨時職員の中には、月16日勤務の者もいる。

入会説明会を受ければすぐに会員になれるという入会はさせていない。入会にはフィルターをかけている。就業前研修を行い、理念にあった者を入会させている。しっかりと説明し、会員に自覚を持たせている。入会説明会は2時間、休憩後申込書の書き方を説明している。入会する意思のないものは帰っていく。役員面接は、面接担当理事が行う。どんな目的か、待遇ビデオ、職員グループ面接を行う。

市広報で入会説明会を案内している。かもメールではがきを送っている。かもメールで入会した会員は20名であった。

地域での会員のつながりを大切にしている。10地区公民館単位で懇談会を持っている。隣の人が会員になっているのか、なっていないのかわからない。できるだけ、会員をつなげる桜を見る会や、ウォーキングなどを実施している。地区長が先頭に立ち会員同士のつながりを作っている。公開講座、市民たくさんの方の参加を求め、友達を会員になってもらう会員活動を行っている。ヘルパー講習を受けてもらい派遣で施設で就業してもらっています。

児童クラブは、元教職員が、多くいる。夏休みは毎日のメニューを会員が決める、計画を立てている。

入会時には、健康申告書の提出を求める。その後は、健康診断結果表の写しを毎年提出させている。市が行っている特定健康診断の受診率が低かったのも含めて受診促進している。健康診断を行うことにより、ポイントが加算される。